



ダムっ湖

vol.46 (令和5年冬号)

～洪水期を振り返って～



管理所ホームページ

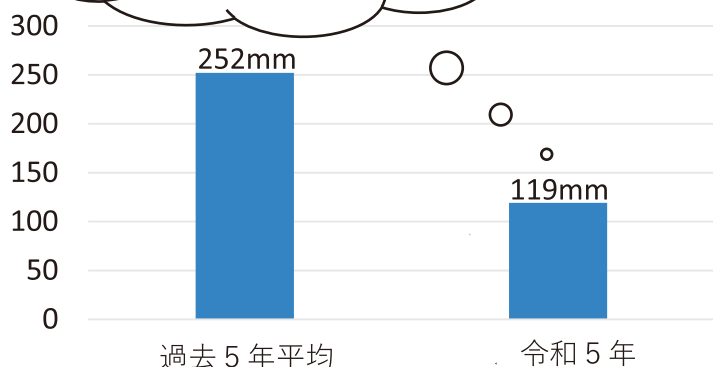
～洪水について～

- 三国川ダムでは、梅雨前線や台風の影響で雨が多くなる6月から9月までの期間を「洪水期」とし、ダムの水位を標高427.0mから標高399.5mまで下げることによって、ダムにため込める水の量を増やしています。
- また、三国川ダムでは、ダムに流れ込む水量が毎秒80立方メートルを超える出水を洪水と定めています。その際にはダムに水を貯めることで、洪水被害の軽減を図ります。
- 今年は、三国川では6月2日・9月30日の2回洪水が発生しました。9月30日の洪水では、最大毎秒92立方メートルの水が三国川ダムに流れ込みました。そこで、三国川ダムでは最大毎秒22立方メートルの水を貯め込むことで、洪水被害の軽減に努めました。

～渇水について～

- 洪水は発生したものの、今年は例年に比べて雨量が少なく、三国川ダムにおける8月の累計雨量では、過去5年平均の約半分弱程度でした。

過去5年の平均と比べ、
約5割弱しか降らなかった・・・



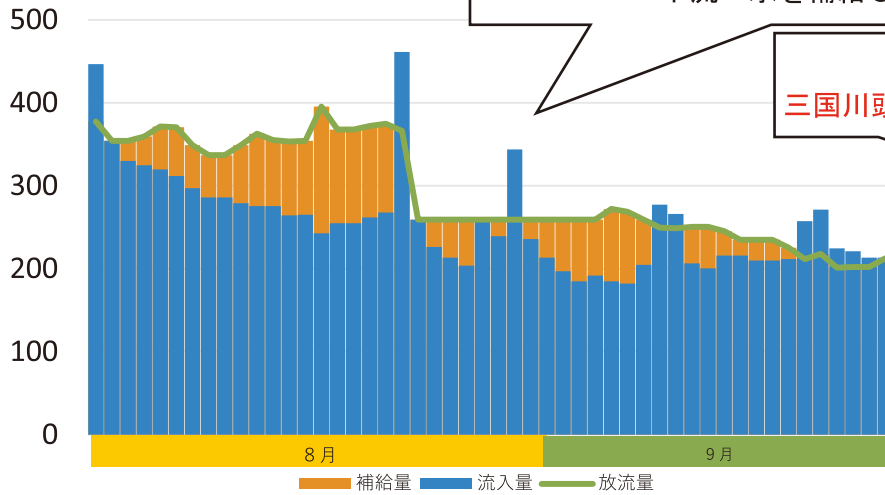
雨量の減少により
上流からの水が少ない・・・



■ 三国川流域における8月の日平均雨量の累計

今回の渇水を受け、三国川ダムではダム湖の水を、農業や生活に使用する水の補給に充てることを優先した放流を行いました。

(単位：千立方メートル/日)



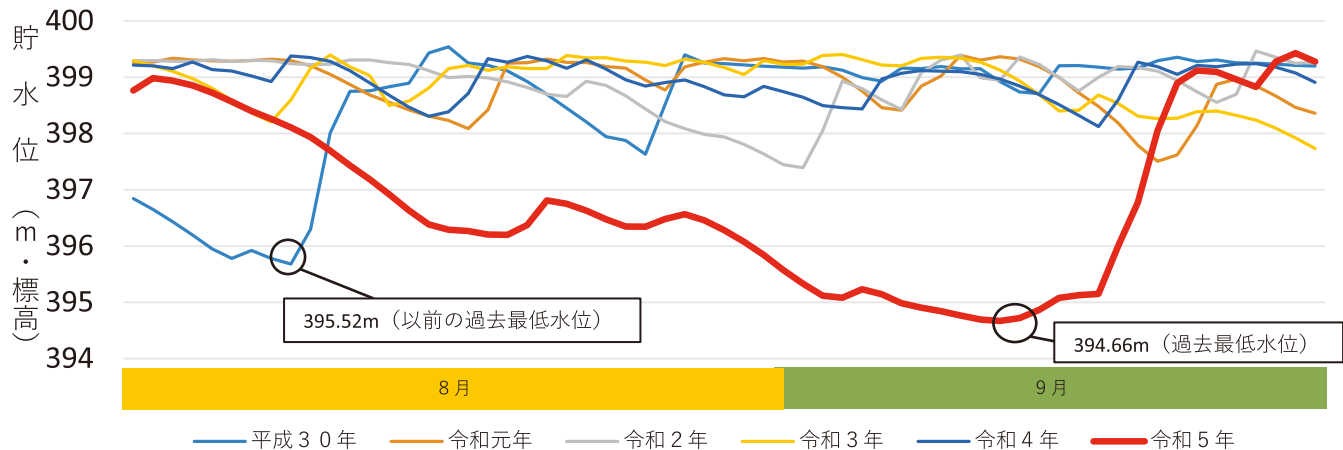
オレンジ色の部分は、放流量 > 流入量の操作を行い、下流へ水を補給しました！

ダムから放流した水は三国川頭首工から取水し、南魚沼市内各地へ！



その効果として、三国川頭首工を管理する五城土地改良区の職員より「渇水でも、下流域に住む人たちの為にダムの水を使っていたいただき、主に農業用水の渇水を軽減できたことは、大変ありがたかった。」との感謝の言葉をいただいております。

一方で、補給を行った結果、ダムの水位は過去最低を下回る結果となりました。



水位が例年より低下したことで、通常はダム湖の中にある見えない設備の一部が露出しました。

今年も、残すところ1ヶ月を切りました。

三国川ダム管理所では11月いっぱいをもちまして、ダム見学及び情報館を閉館しました。

来所されても、見学等は行っておりませんのでご注意ください。

